

みんなと一緒に

福祉とボランティア活動展

様々な出合いの場

去る、10月23～24日の2日間にわたって、一宮市社会福祉協議会主催の福祉とボランティア活動展が一宮スポーツ文化センターで開催されました。

当会もミニデイサービスまごころを体験していただくコーナーを設置、多くの方々との出合いと交流ができました。

何十年振りかで歌を唄えたというお年寄りの方、ピアノが弾きたかったのよと弾いて聞かせて下さった方、子供達から元気な歌声や楽器演奏をプレゼントされたお年寄り、逆にお年寄りから子供達へピアノ演奏のお返しなど、歌を唄い、楽器をならし、ダンスを踊り、お菓子を作り賑やかな様々な方々との交流が終日絶えなかった。

また、お世話になった施設の関係者や当会男性介護講座の受講生や介護保険の集いに参加下さった方、まごころでボランティア体験をした学生さん、お手伝いさせていただいた2級の講座受講生など、まごころとの出合いを忘れずに立ち寄って下さった皆さんのことが嬉しかった。

この会場でなければ出会えない方々でした。活動展参加は大きな活動の輪になりました。

9月活動状況

在宅 活動件数	42件
” 活動人数	31人
” 活動時間	657.5時間
ミニデイサービス利用者数	29人
移送サービス利用件数	23件

9月会員登録状況

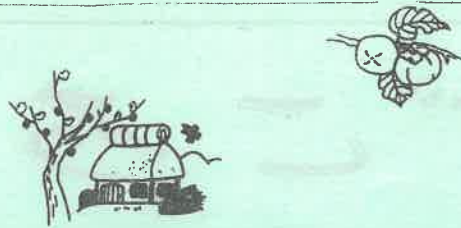
協力会員	49人
利用会員	77人
賛助会員	151人
計	277人

12月の定例会は

12月6日(月) 野外定例会です。

- ◆行き先 犬山 寂光院
- ◆集合場所 まごころ事務所
- ◆集合時間 午前9時30分

この日はケアはお休みです。利用会員さんよろしくお願ひ致します。



バザーにご協力ありがとうございました

～～バザー収益は 314,490円でした～～

10月31日に事務所で行いました「まごころバザー」には、朝早くから多くの方々においでいただき大盛況でした。

多くの皆様からいただいた善意のお陰で、たくさんの収益を上げることが出来ました。

「まごころ」のことをこんなに気にかけて下さって、大変嬉しく思っています。

品物をご提供下さった方、また、お買い上げ下さった方、バザーのお手伝いをして下さった方々に心から厚く御礼申し上げます。

収益は、会の運営費として大切に使用させていただきます。

ありがとうございました。

11月の予定

- 1日(月) 会報「まごころ」発行
定例会 研修会 介護技術
- 3日(水) NPO法人代表者会議
- 4日(木) ミニデイサービス(場所・公民館)
- 介護ボランティア 田中、宮田
- 6日(土) 運営委員会
- 7日(日) 一宮寮開寮祭
- 8日(月) - 介護ボランティア 鈴木、平子、山口
- 10日(水) 運営委員会
- 11日(木) ミニデイサービス(場所・事務所)
- 介護ボランティア 村橋、大橋、城田
- 14日(日) リサイクルバザー(競輪場)
- 15日(月) - 介護ボランティア 谷、安藤、小木曾
- 17日(水) 運営委員会
- 18日(木) ミニデイサービス(場所・公民館)
- 介護ボランティア 築城、夏田、野田
- 22日(月) - 介護ボランティア 川崎、倉知、池田
- 24日(水) 運営委員会
- 25日(木) ミニデイサービス(場所・事務所)
- 介護ボランティア 岩田、小出
- 29日(月) - 介護ボランティア 安福、橋、松本

感謝

この度、Iさん、Oさん、Mさん、Tさんから寄付をいただきました。会のために大切に使用させていただきます。

診療室日記

いぼ地蔵さん

岩田 忠俊

毎日の外来で、皮膚科医が手こずる病気のひとつに「いぼ」があります。いぼの原因は「ヒト乳頭腫ウイルス」という病原体で、手足の小外傷を受けやすい部位にこのウイルスが感染して発症することは分かっています。

しかるに、治療となると残念ながらこのウイルス自体に効く薬は未だ開発されていません。

そこで、皮膚科では「いぼ」を物理化学的に焼灼したり凍結融解させたり、化学薬品で腐食させたりしてウイルスに感染した細胞ごと破壊する方法がとられますが、当然これには痛みが伴います。「いぼ」の患者さんの多くは子供さんで、小さな子供さんに痛みをガマンして頂くは当方としても極めて辛いものがあります。

漢方薬でハトムギ(エキス剤)が「いぼ」に有効であることは経験的にしられ保険適応薬のひとつですが、その効果は人によって不定です。

医療がこんな状態ですから「いぼ」の民間療法にも実に様々なものがあります。そんな中、洋の東西を問わず信仰による治療も多く、ヨーロッパでは、おまじないを唱えて肉片の断面に「いぼ」をなすりつけると「いぼ」が肉へうつって病変が治ると云った方法があるとか。

日本でも全国津々浦々に「いぼ地蔵」さんの信仰があり、お参りして「いぼ」がとれると云い伝えられています。

当地一宮にも、先頃新聞で紹介された有名な「いぼ地蔵」さんがあり、当院では前々から紹介しておりました(新聞の見出しにも「医者も勧める」の文言あり)。こうした信仰が長く伝わるにはそれなりの実績があり、すなわち「いぼ」の自然消退(免疫の獲得)があることを物語っている訳です。自己暗示により「いぼ」に対する免疫誘導が助長される可能性は否定し得ません。

「いぼウイルス」に対する有効な坑ウイルス薬が開発されるのはまだまだ先のようなので、当分、診察室にも霊験あらたかな「いぼ地蔵」さんの紹介記事を掲げて、ハトムギを処方しながら「信ずる」ことの大切さを説く毎日です。ホレホレ、これをお読みの貴方、笑っちゃイケマセン。汝、これを信ぜよ。「信ずる者はイボとれる」。(それでも皮膚科かえ?) 医学はいつも発展途上です。許して。 (岩田皮膚科院長)



福祉用具リサイクル情報案内

【譲りたい情報】

- ◆手すり(洋式トイレ用)
- ◆歩行器 ◆老人車1台(新品)

【譲りました情報】

- ◆電動ベッド1台